

# 2010年度県生協連トップセミナー報告

1. 日時 2011年3月4日(金) 13:30～5日(土) 11:40  
 2. 場所 浅虫温泉 旅館「柳の湯」  
 3. 出席

県庁生協	6	県民生協	5
津軽保健生協	5	青森保健生協	12
八戸医療生協	4	コープあおもり	17
消費者信用生協	1	総合計	57
県生協連、地連、講師	7	*アンケート：16名	

## 4. 内容

- 1) 講演Ⅰ「東京の生協がめざす福祉のまちづくり」  
 講師：森 芙紗子氏（東京都生活協同組合連合会 福祉政策担当）
- 2) パネルディスカッション  
 「日本の生協の2020年ビジョン（案）をめぐって」  
 パネラー：小池伸二氏（コープあおもり 専務理事）、  
 上田 正氏（信用生協 専務理事）  
 佐藤まさ氏（津軽保健生協 専務理事）  
 嶋田順一氏（県庁生協・県民生協 常勤理事）  
 コーディネーター：土嶺 彰（県生協連 専務理事）
- 3) 講演Ⅱ「全国生協の現状と日本の生協の2020年ビジョン」  
 講師：芳賀 唯史氏（日本生活協同組合連合会 専務理事）



●講演中の森芙紗子さん



●講演中の芳賀専務

## 5. 概要

### 【講演Ⅰ】3月4日 13:30～15:20

東京都生協連福祉政策担当の森 芙紗子氏より、「東京の生協がめざす福祉のまちづくり」についての考え方、そのイメージ、進め方について、高齢者の状況を交えながらパワーポイントを使い分かりやすくお話いただきました。

＜講演で強調されたポイント＞

- ①「東京の生協がめざす福祉のまちづくり」のキーワードは「一人ぼっちにしないまちづくり」
- ②杉並区での具体的な実践事例
- ③地域生協と医療生協の相互理解をもとに連携の広がり事例と県生協連の役割等

最後に、「一人ぼっちにしないまちづくり」について、なくすまちではなく、しないまちとした意味は、私たちが主体的にどう取り組んでいくかということ。生協の枠を超えて、自分のまちの5年後10年後をイメージして、今何が必要か、何が出来るか、どうしたら出来るかをまず言葉にしていく、まずやってみながら広がりを作る、今までつながっていない人との関わりをつくっていきこう！と呼び掛け終了しました。

### 【パネルディスカッション】 15:30～17:10

パネラーの四氏より「(私が考える)我が生協の2020年ビジョンと日本生協連・青森県生協連に望むこと」について発表していただきました。今後、各生協が青森県で進めようとしていることや県生協連や日本生協連への要望・期待を交流する有意義な場となりました。



●パネルディスカッションの様子

### 【講演Ⅱ】3月5日 9:30～11:30

日本生活協同組合連合会の芳賀唯史専務理事より、「全国生協の現状と日本の生協の2020年ビジョン」についてお話をいただきました。芳賀専務は、ビジョン（案）の作成提案にいたる経過、ビジョンの各章各項目の内容や会員生協から意見を受けての検討状況、今後総会までの検討予定について詳しく解説されました。講演の冒頭に紹介されたビジョン検討委員会の欧米生協の視察状況や検討委員会の勉強会で出された店舗事業に関する他企業トップのコメント（生協店舗事業における本部経費の肥大化等）が刺激的なお話でした。